

# ヤンバルクイナ

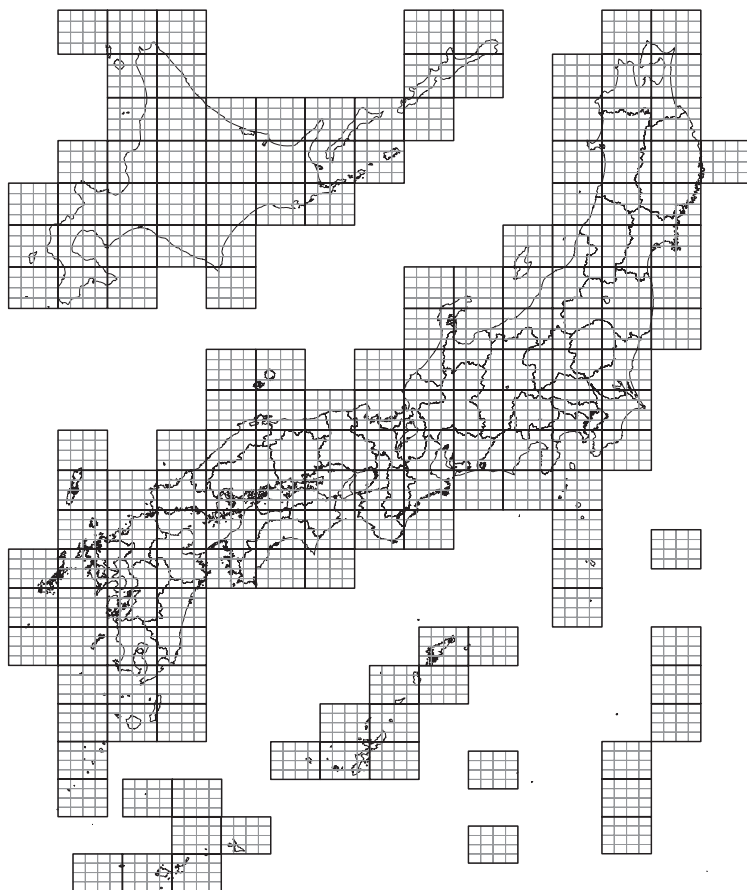
(分類) ツル目クイナ科 *Gallirallus okinawae*

(環境省RDB種) 絶滅危惧 B類

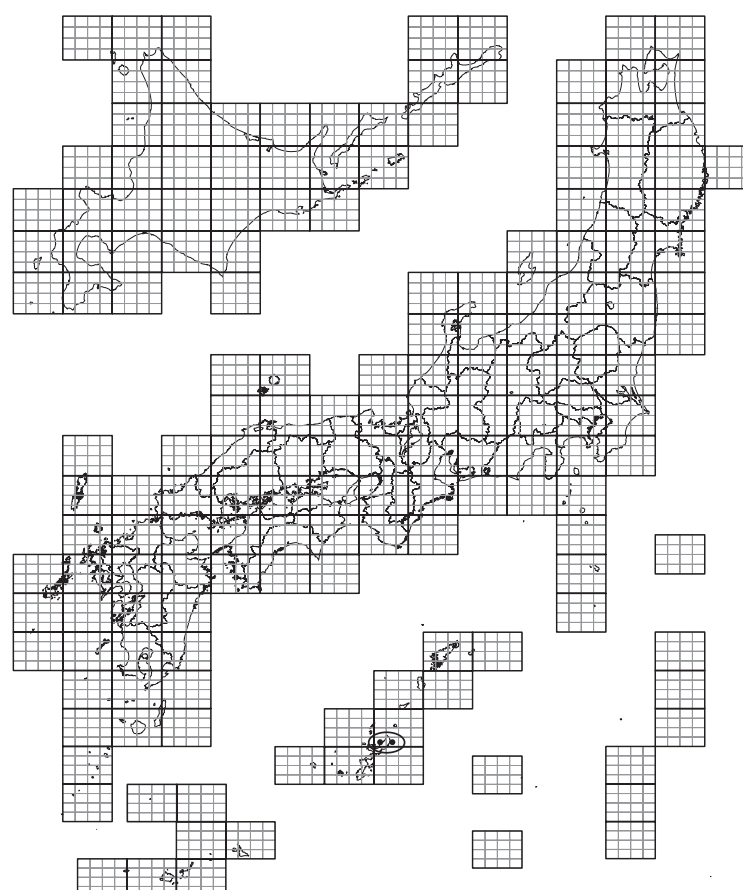
(分布) 沖縄本島北部の森林で留鳥。日本固有種。

(生態) 常緑広葉樹林と隣接する草原や湿地に生息し、地上に営巣する。4～5卵を産む。地上性で、ほとんど飛ぶことはできないが、樹上でねぐらをとる。おもに小動物を食べると考えられるが、詳細はわかっていない。

1974年－1978年   メッシュ数   A = 0 B = 0 C = 0



1997年－2002年   メッシュ数   A = 0 B = 2 C = 0



# オオクイナ

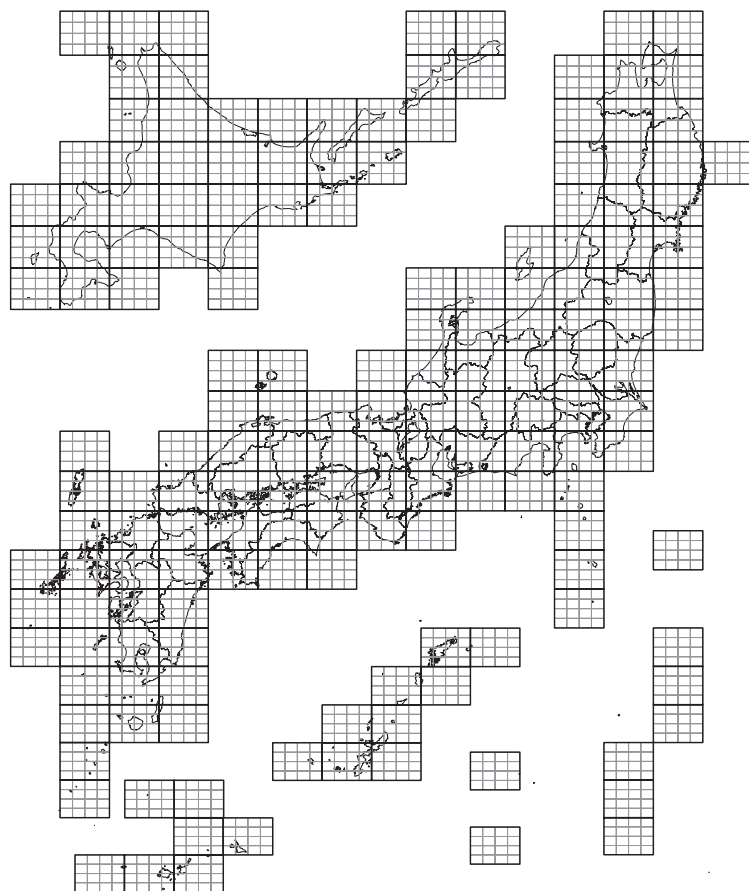
(分類) ツル目クイナ科 *Rallina eurizonoides*

(環境省RDB種) 絶滅危惧 類

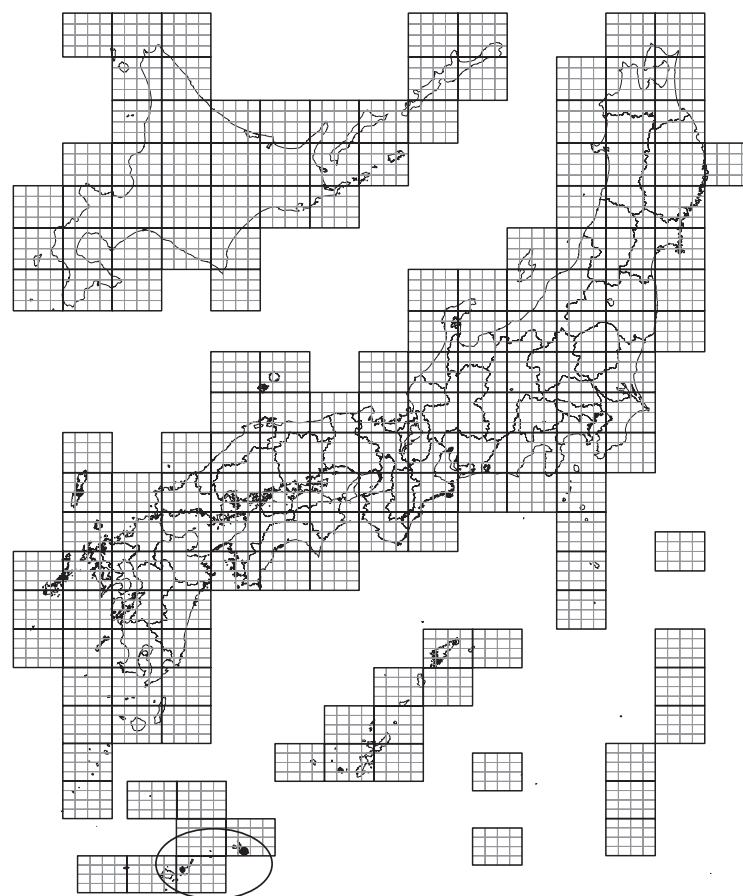
(分布) 南西諸島で留鳥。東南～南アジアの熱帯、亜熱帯域に分布。一部は渡りをする。

(生態) 常緑広葉樹林と隣接する草原に生息し、茂みや樹上に営巣して4～8卵を産む。地上性だが、樹上でねぐらをとる。昆虫、軟体動物などの小動物と湿地の植物を食べる。

1974年－1978年    メッシュ数   A = 0   B = 0   C = 0



1997年－2002年    メッシュ数   A = 1   B = 1   C = 0



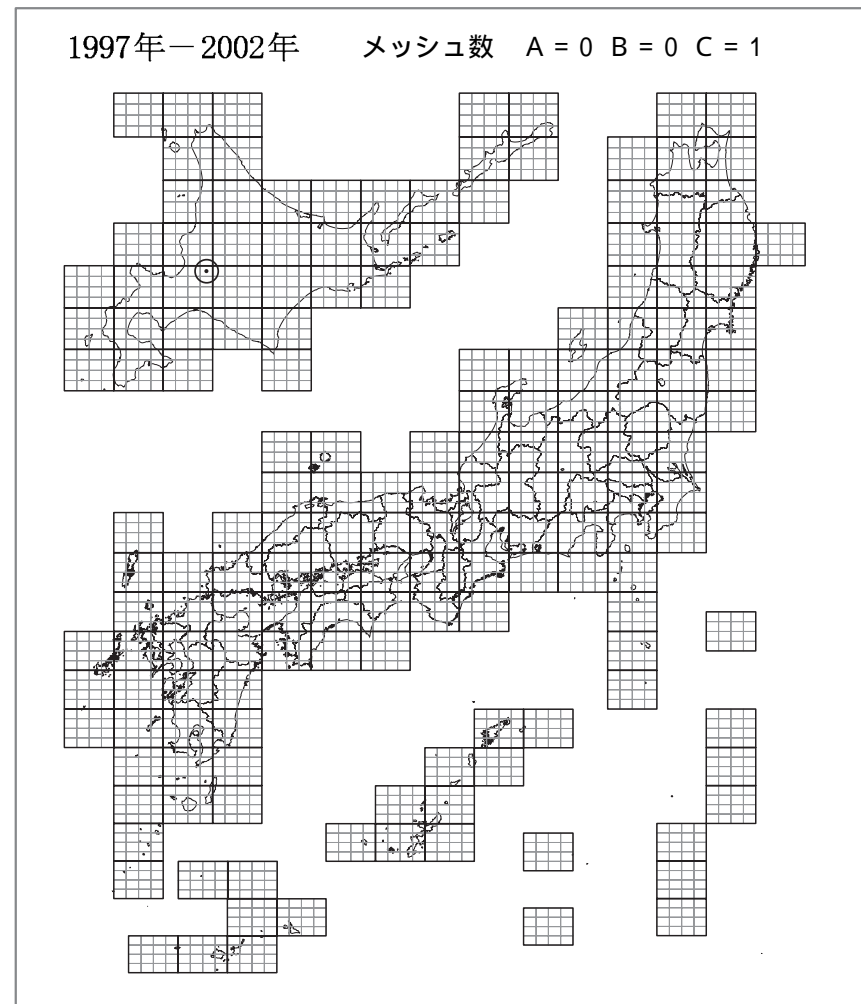
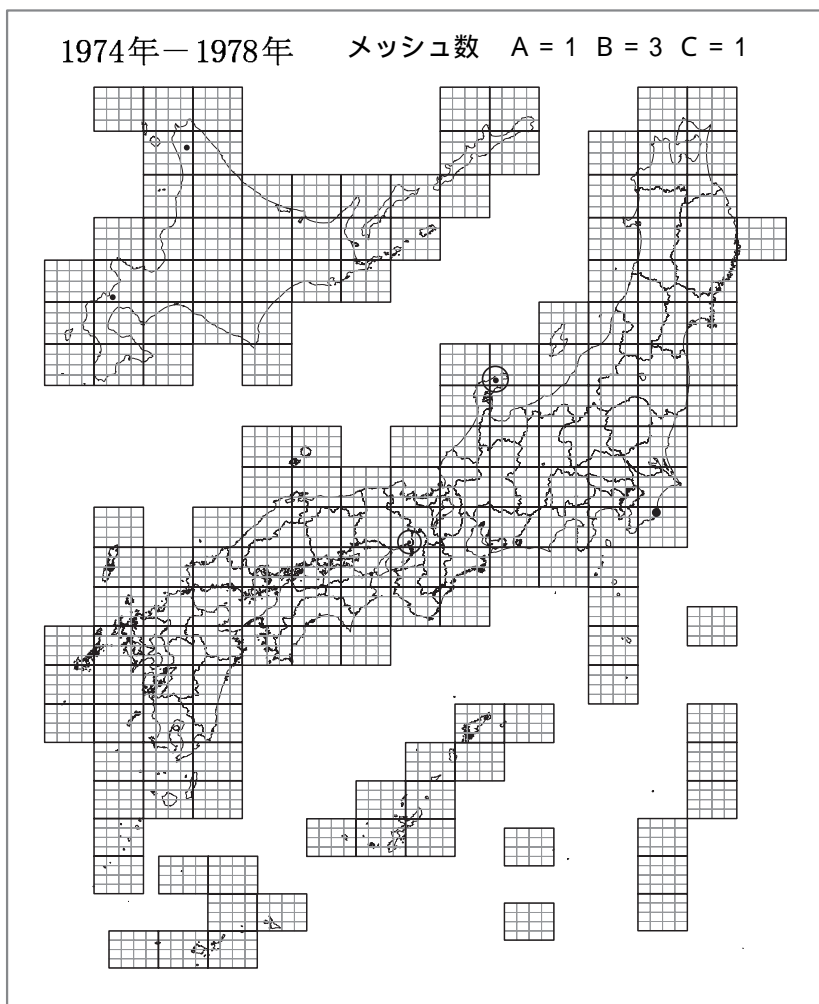
# ヒメクイナ

(分類) ツル目クイナ科 *Porzana pusilla*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 本州北部以北でまれに繁殖。本州北部以南で越冬。

(生態) 平地の水田や湿地に生息し、藪内の地上に営巣し、6～8卵を産む。繁殖期以外は単独で行動し、水生昆虫や軟体動物などの小動物、および植物の種子などを食べる。



# ヒクイナ

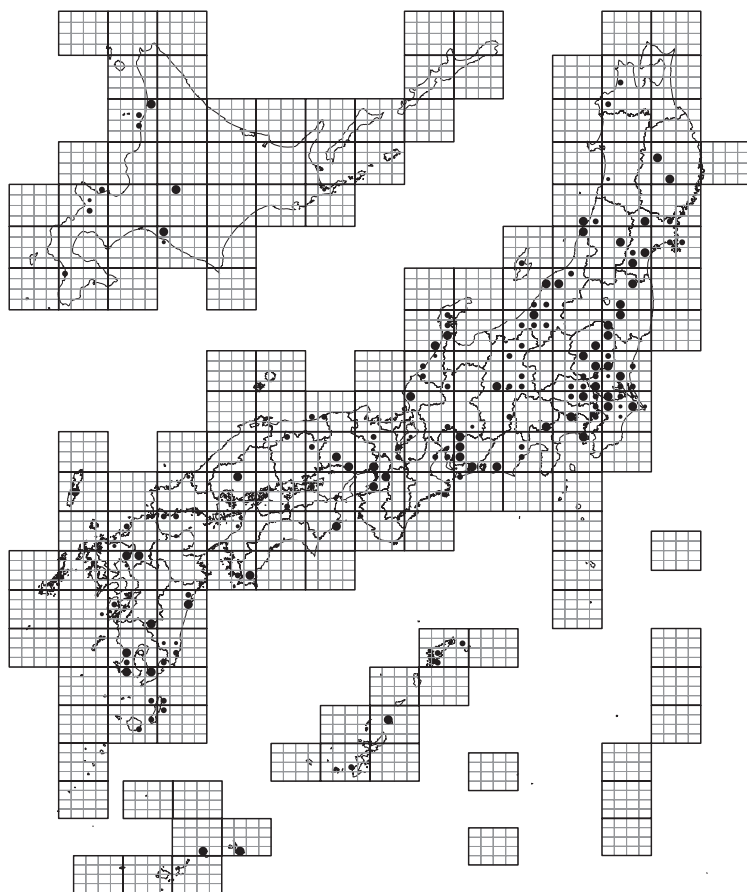
(分類) ツル目クイナ科 *Porzana fusca*

(環境省 RDB 種) -

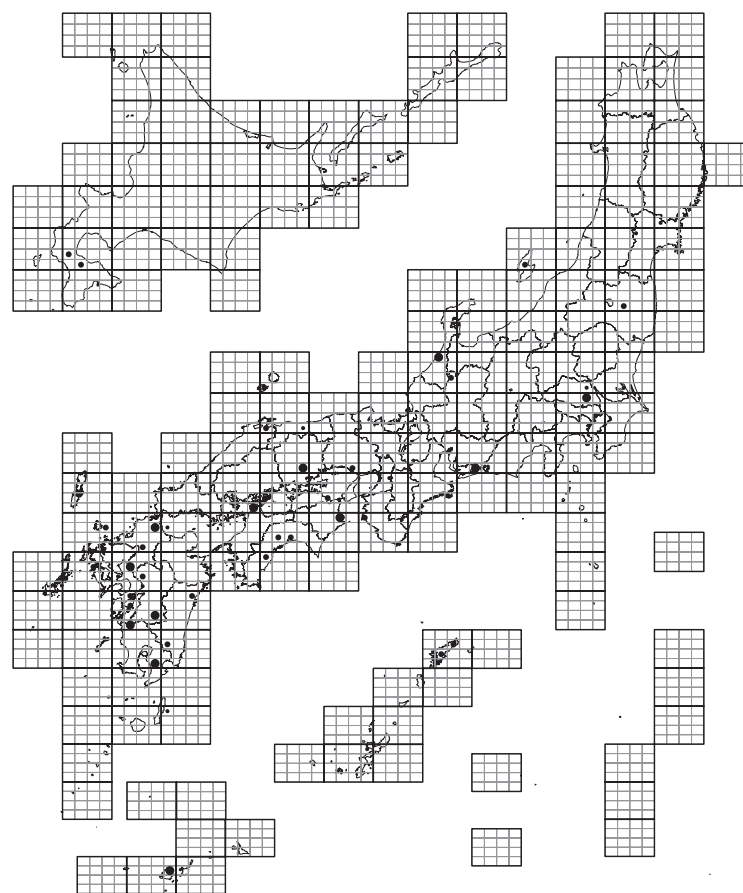
(分布) 九州から北海道で夏鳥。南西諸島で留鳥(南西諸島産亜種リュウキュウヒクイナ)。東アジアから東南アジア、南アジアに分布。

(生態) 平地～低山の水田を含む湿地に生息し、草の茂みの中で営巣する。5～9卵を雌雄で抱卵し、ヒナはふ化後数日で自力で採食するようになる。繁殖期以外は単独で行動し、水生の小動物、草本の種子などを食べる。

1974年－1978年    メッシュ数   A = 59   B = 76   C = 24



1997年－2002年    メッシュ数   A = 12   B = 23   C = 12



# シマクイナ

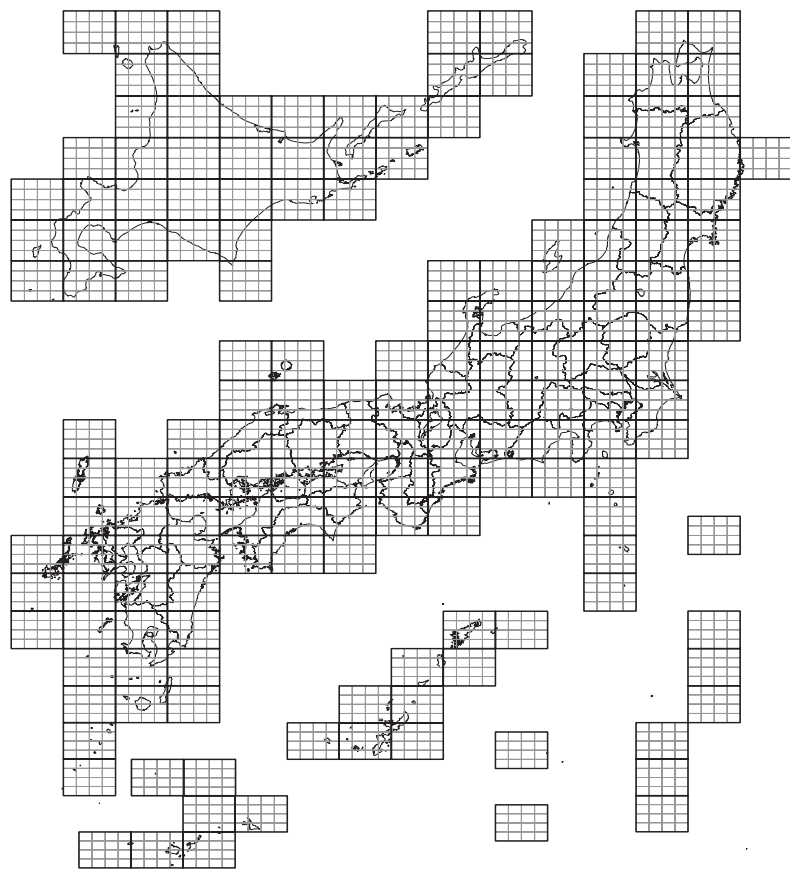
(分類) ツル目クイナ科 *Coturnicops noveboracensis*

(環境省RDB種) 絶滅危惧 類

(分布) 稀な冬鳥として全国で記録がある。ロシア、中国東北部、アメリカ大陸北部などで繁殖する。

(生態) 湿地やヨシ原などに生息。草むらの地面に枯れ草などを集めて営巣し、4～6卵産む。水生昆虫、軟体動物、植物の種子などを食べる。

1974年－1978年      メッシュ数   A = 0   B = 0   C = 0



1997年－2002年      メッシュ数   A = 0   B = 0   C = 1

